

島根県立中央病院で診察を受けられる患者さんへ

当院では、以下の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、ご自身の試料・情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

ただし、すでに解析を終了している場合には研究データからあなたの情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

研究題目	吸収性プレートによる眼窩底骨折整復後のCT画像経過についての研究2
研究期間	2021年11月4日～2023年3月31日
対象患者	当院で眼窩底骨折手術を行い吸収性プレートを留置した患者さんの内、術後初期と術後1ヶ月以上のCT画像のフォローのある患者さん
対象期間	2009年4月1日～2018年3月31日
研究機関の名称	島根県立中央病院
実施診療科	形成外科
研究責任者	井上真一
意義・目的	当院で使用した吸収性プレート(PLLA+HA、PLLA+PGA)留置後の眼窩部CT画像を検討し、眼窩底骨折術後にどのくらいの期間、眼窩内容物を支える必要があるか、骨折面積によりその違いがあるかを検討します。これにより、適切な吸収性プレートの使用と、今後必要となる吸収性プレートの適応を検討します。
研究の方法 (試料・情報の利用方法・他施設への提供方法を含む)	電子カルテおよび後利用システムを利用して、下記の「利用・提供する試料・情報の項目」に示す情報を抽出します。抽出データを基に、吸収性プレートを用い眼窩底骨折整復術を行った患者さんの術後眼窩部CT画像を評価、計測し、骨折面積、プレートと眼窩底骨片との距離の経時的変化とプレートの材質との関連を統計処理により検討します。
利用・提供する試料・情報の項目	性別、手術日、手術記録、使用した吸収プレートの材質、術前後CT眼窩部CT画像、年齢、カルテ番号(眼窩部CT画像を実際に計測する必要があるため)等
試料・情報の提供の有無	試料・情報の他施設への提供 あり・ <input type="checkbox"/> なし (ありの場合、海外の施設への提供 あり・なし)
個人情報の保護	当院における個人情報保護の基本方針に準じて行います。
結果の公表	投稿論文として公表予定
備考	

***** お問い合わせ先 *****

島根県立中央病院

形成外科 井上 真一

電話：0853 - 22 - 5111
